

## 今後の研究における方向性

### <疫学研究>

肝炎対策の推進につなげるため、感染者数や患者数の実態を明確にするための全国規模の研究を継続的に行う。また、ウイルス性肝炎の長期経過・予後調査に関する全国規模の研究も継続的に行う。とりわけ、「肝炎対策の推進に関する基本的な指針」において、肝硬変又は肝がんへの移行を減らすことが施策の目標とされたことを踏まえ、肝硬変の罹患者数や重症度別の予後等に関する全国規模でのデータを把握する研究や新規感染者に関する調査研究を行う。

## 具体的な研究課題 疫学研究

- ① 抗ウイルス治療後も含めたウイルス性肝炎に関する長期経過・予後調査に関する全国規模の研究
- ② ウイルス性肝炎患者の肝臓関連死亡に関する研究
- ③ 肝炎ウイルス感染者数やウイルス性肝炎患者数の実態把握に関する全国規模の研究
- ④ 肝硬変の罹患者数や重症度別の予後等に関する全国規模の研究
- ⑤ 肝炎ウイルスへの新たな感染の発生防止に資する研究

▶ 肝炎ウイルス感染状況と感染後の長期経過に関する研究 (田中班H28～30年)

## 今後の研究における方向性

### <行政研究>

肝炎対策を効果的に推進するため、「肝炎対策の推進に関する基本的な指針」に基づき、感染予防や偏見・差別の防止、医療・相談体制、肝炎ウイルス検査体制、陽性者フォローアップ体制、就労支援、肝炎患者の実態把握等に関する研究を行う。

### 具体的な研究課題 行政研究—1

- ① 肝炎ウイルス検査受検促進及び検査結果が陽性である者への効率的なフォローアップに関する研究
  - 職域等も含めた肝炎ウイルス検査受検率向上と陽性者の効率的なフォローアップシスの開発・実用化に向けた研究 (是永班H29～31年)
  - 肝炎ウイルス検査受検から受診、受療に至る肝炎対策の効果検証と拡充に関する研究 (江口班H29～31年)
- ② 医療機関において行われる肝炎ウイルス検査の結果の説明及び情報提供の確実な実施に関する研究
  - 職域等も含めた肝炎ウイルス検査受検率向上と陽性者の効率的なフォローアップシスの開発・実用化に向けた研究 (是永班H29～31年)
  - 地域における**病診連携**の推進に資する研究
    - ウイルス性肝炎の診療連携体制向上に資する研究 (H30年度一次公募)
- ③ 職域における肝炎患者等に対する望ましい配慮の在り方に関する研究
  - 職域等も含めた肝炎ウイルス検査受検率向上と陽性者の効率的なフォローアップシスの開発・実用化に向けた研究 (是永班H29～31年)
- ④ **肝硬変、肝がん**等の病態別の実態を把握するための研究
  - 肝炎の病態評価指標の開発と肝炎対策への応用に関する研究 (考藤班H29～31年)
  - 肝がん研究の推進及び肝がん患者等への支援のための最適な仕組みの構築を目指した研究 (小池班H29年)
  - 肝炎ウイルス感染状況と感染後の長期経過に関する研究 (田中班H28～30年)

## 具体的な研究課題 行政研究—2

- ⑥ 肝炎患者等に対する偏見や差別並びにその被害の防止に資する研究
  - ▶ 肝炎ウイルス感染者の偏見や差別による被害防止への効果的な手法の確立に関する研究（八橋班H29～31年）
- ⑦ B型肝炎母子感染予防対策の実施状況等の実態把握や効果検証に関する研究
  - ▶ 肝炎ウイルス感染状況と感染後の長期経過に関する研究（田中班H28～30年）
- ⑧ 地域や職域等での肝炎ウイルス検査や検査後の受診状況等の実態把握と今後の在り方に関する研究
  - ▶ 職域等も含めた肝炎ウイルス検査受検率向上と陽性者の効率的なフォローアップシステムの開発・実用化に向けた研究（是永班H29～31年）
  - ▶ 肝炎ウイルス検査受検から受診、受療に至る肝炎対策の効果検証と拡充に関する研究（江口班H29～31年）
- ⑨ 肝炎について理解を深めるための普及啓発方法に関する研究
  - ▶ 肝炎ウイルス感染者の偏見や差別による被害防止への効果的な手法の確立に関する研究（八橋班H29～31年）
  - ▶ 肝炎に関する政策研究の動向把握と研究の評価・進捗管理方法に関する研究（山内班H29～31年）